

# 長崎歯科衛生士専門学校

## 令和3年度 第1回 学校関係者評価委員会会議録

日 時：令和3年8月18日（水曜）午後6時25分～7時35分

場 所：長崎県歯科医師会館 3階学校会議室

出席者：【評価委員】 7名

【専門学校】 6名

司会進行：井手教務部長

### 1. 開 会

### 2. 挨拶（岩永副校長）

### 3. 出席者紹介

### 4. 報 告

- ・今年度新入生、在籍者数について
- ・昨年度の歯科衛生士国家試験不合格者について  
…県歯会員歯科医院へ歯科助手として就職。再受験に向け4月より登校日を設け勉強中
- ・国家試験合格率…全国 93.3%、本校 93.5% 合格発表後、異例ではあるが不適切問題への対応として、3月31日に22名の追加合格者発表が行われた
- ・臨床・臨地実習…会員診療所では通常通り8月23日月曜～実施予定、大学病院はPCR検査を条件とし、9月21日（火曜）より実施予定  
感染症の状況により訪問できない施設に、学生が指導内容を動画に収めDVDを送った
- ・オープンキャンパス開催状況  
5月…中止（長崎市独自の緊急事態宣言により）  
6月…人数制限を設け開催（20名）  
7月…通常開催（31名）  
8月…人数制限（22名）にて準備を進めていたが、昨日からの感染拡大により中止  
9月…状況をみながら決定する
- ・TV番組で、オープンキャンパス情報を放送→視聴

### 5. 協 議

#### （1）令和元年度自己評価について

##### <学校教育目標>

- ・入学後、1,3,5年後、短期中期的目標設定し、年度ごとの振り返りは良い行動
- ・長崎大学では入学直後1,3,5年後の目標を掲げ、年2回到達度を話し合う。グループワークを行いできないことを確認。目標を想像させると効果的。歯科衛生士は働いている姿を想像させると良い
- ・ライセンス取得後のコミュニケーションが大事。学生のみでなく講師も努力すべき
- ・「人に優しい歯科衛生士」の育成に今後も取り組む。とても感じが良い歯科衛生士が多い

##### <重点的に取り組むべき項目>

- ・コミュニケーション能力、倫理観は目標設定のレベルは別にしても、最も重要性が高い
- ・知識があっても腕が良くても、コミュニケーション能力がなければ通用しない
- ・より志の高い学生選抜も重要ではあるが、現状、選抜できず、国試合格100%は厳しい
- ・選抜できない以上、入学後に国家試験合格を最終目標と掲げ、教育したい

- ・講義中、学生の学力や反応に良い悪いの差を感じる。塾のWEBシステムのようなものを活用できないか。家でも解けるシステムがあれば、受験対策にできるのではないかな？
- ・リモートは、対面と比較し熱が伝わらないことから成績アップにつながるものか心配
- ・国家試験対策に業者講義を1社増やした。違った視点からの学習効果を目指す
- ・自分の所属ではワンオンワンを採用している。年度初めに課長対職員で年間目標を掲げ、月一回到達度を話す。メンタル面向上、能力をあげる目的。学生の場合、学年で目標が違うため、就職活動間近に倫理観、就職、コミュニケーション能力の面談を重ねるのも一つの手だと思う

#### <教育理念目標>

- ・何の指標を基に評定を与えているか確認は必要。歯科医療の中で重要な役割である歯科衛生士教育について、メリハリをつけ、気を緩めないように進めたい

#### <学校運営>

- ・コンプライアンス委員会は、形式的でなく実効性のあるものを行うべきと考える

#### <教育活動>

- ・重要なのは昨今のニーズと変化を受け取ることと作問者の意図を読み取る読解力。本を読まなくなっていることもあり、強化したいが何が効果的か。また、オンライン、精神面の問題にも取り組みたい
- ・就職者が考えているところがわかりにくい。年齢、立場による遠慮や性格と、自身のコミュニケーション能力も問題。自身が伝えたいことをうまく教育することだと思う
- ・両者の問題であり永遠のテーマ。若干の先輩であれば本音を拾えるが年上の寄り添いには限界がある
- ・今は読解力+表現力がない。顔文字で表現。発信者も表現を変え理解度を確認する
- ・以前は携帯がなく伝えることも必死だった。今は受けとめ方が違い対策は難しい
- ・高齢者とうまく話せるようになったら、やっと理解できると思う
- ・歯科衛生士だけでなく歯科医師の教育も必要ではないかと思っている
- ・関係業種から歯科衛生士は華やかだと言われる。給料面も看護師は残業や当直により高いが実際変わらない。それも魅力の一つに挙げても良いのではないかな

#### <学生支援>

- ・昨年、緊急給付金制度を利用した学生は12人であった

#### <学生の受入れ募集>

- ・歯科衛生士法が変わり、男性歯科衛生士も増えてきていることから学則を変更。男女問わず受け入れ可能となった。7月オープンキャンパスに男性1名の参加があった
- ・男子受け入れについて、現在歯科衛生士養成校170校近くの半分が受入OK、70名弱の男子学生がいる。県歯会員へのアンケートでは、3割の回答者のうちほとんど受け入れ可。給付金受給資格の問題をきっかけに急遽変更した
- ・以前の勤務校で男性学生を受け入れていたが、学生の将来を悩み、考えることが多かった

#### <その他>

- ・コロナの感染拡大がお盆の後どうなるかかなり心配。臨床実習講師側から受入拒否などないかと悩むが、学校としては頑張りたい
- ・一見健康に見える患者も無症状だったりする。長崎大学の臨床実習の受け入れに関しては今のところ受け入れる方針
- ・フェイスシールド・ゴーグル着用して実習すると思うが、テレビ取材の画面でマスク着用法が気になった。正しく着用しないと意味がない。日頃より意識づけてほしい

#### (2) 令和3年度自己評価年間計画について

資料のとおり進める予定なので、ご確認いただきたい